

## 書 評

## 昭和 61 年版素形材年鑑\*

ANNUAL STATISTICS OF  
MATERIALS PROCESS  
INDUSTRIES JAPAN, 1986\*2

監修 通商産業大臣官房調査統計部

この年鑑は統計法に基づく通商産業省生産動態統計調査規則により、鑄造、鍛工、および粉末冶金について実施された統計調査の結果をまとめたものである。

日本語版は、国内統計編と海外統計編から成る。国内統計編では、上記 3 業種の昭和52～61年における輸出入状況、生産量、生産額、工場数、従業員規模、生産性、製品価格およびエネルギー消費量の推移を示している。海外統計編では、30か国以上の諸国の統計資料を網羅している。また、付録として、国内および海外諸国の素形材関係の機関の名称と所在地が示されている。

英語版は、日本語版の国内統計資料を要約したものである。

同年鑑にある業種別素形材生産量の推移を図1に示す。(坂木庸晃)

\* B5版 405 ページ 定価 12 000 円  
1987 年 8 月発行 (財) 素形材センター

\*2 B5版 92 ページ 定価 4 000 円  
1987 年 9 月発行 (財) 素形材センター

(万トン)

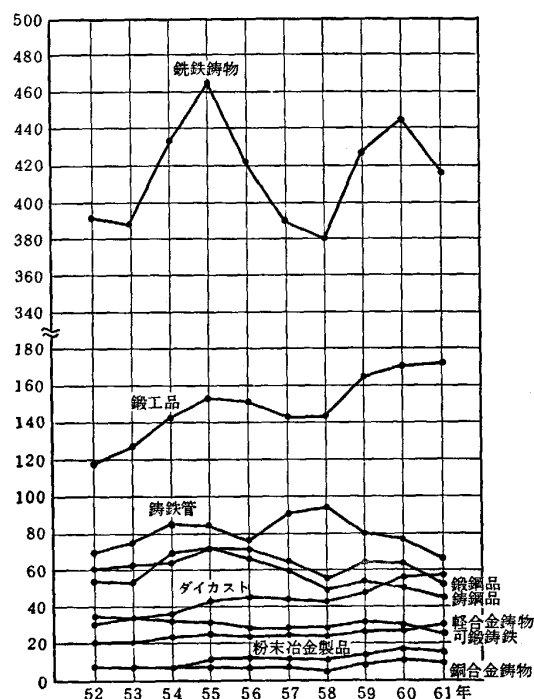


図 1 業種別素形材生産量の推移

(日本語版 p. 16, 図6より)

## 編集後記

新しい講演論文集「材料とプロセス」を手にしたの感想はいかがですか。黄色を基調としているので以前と変わったという感じがしないでもないですね。購入に際しては最小の投資で最大の効果を得るべく、いろいろと作戦をめぐらしたのではないのでしょうか。

編集委員になつて6か月強ですが、他人の書いた論文をこれだけ真剣に、一字一句逃がさず、すみからすみまで、何回も繰り返して読んだことはありません。自分が名前を連ねる投稿原稿でも編集委員になる前はこれほど詳しくはチェックしませんでした。それゆえに実際に書いた人の次に一番内容に詳しいのは自分だと自負しております。

ところで、最近の投稿論文原稿に対する編集委員会

からの照会事項は、必ず検討していただきたい事項 (M) と修正参考意見 (O) に分けられております。よろしく対応下さるようお願いいたします。

自分に関心のある分野の「解説」、「展望」、「技術資料」などはほとんどの方が読まれていることと思います。これらのテーマ内容は編集委員の推薦題目 (各人数か月に一回の割合で機会がある) を編集委員会で審議し決定されます。そこで会員の皆さんがもし希望のテーマをお持ちならば、知り合いの編集委員にお話しをしておけば委員会開催時に考慮していただけることと思います。

いよいよ春たけなわ、花見に、旅行に良い時をお過ごし下さい。  
(H. I.)